

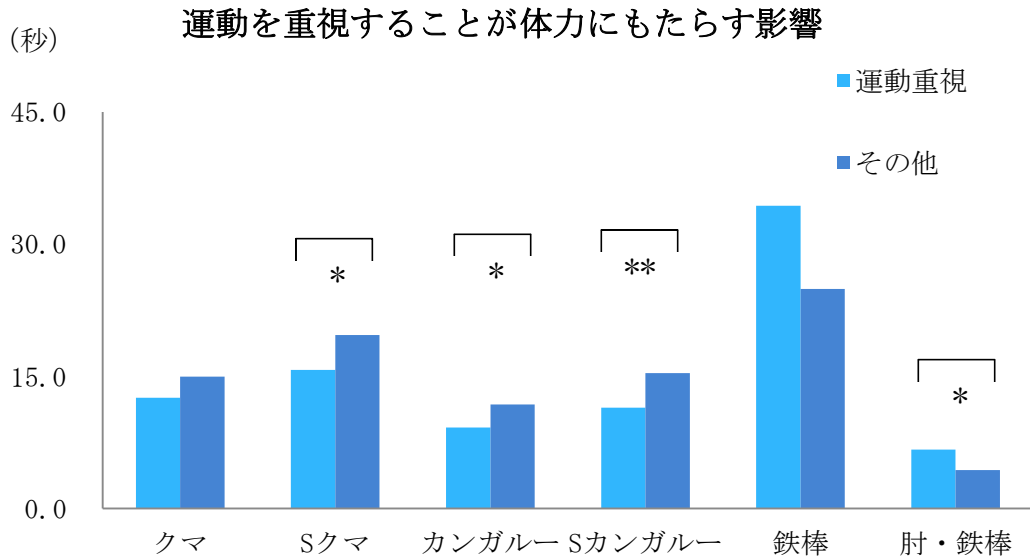
報告3 先生の意欲的な取り組みが子どもの運動能力に与える影響

意識的に運動を行っているクラスは運動能力が高い！？

概要

子どもの日常で、様々な活動があるなかで特に運動を重視していると回答した先生のクラスの子どもたちの運動能力をみてみた。その結果、運動を重視していると答えた先生のクラスは、そうでないクラスの子どもたちよりも運動能力が高いことが確認された。具体的にどのような取り組みを行っているかは不明だが、先生の努力が形になって表れていることを示すデータが得られた。

結果



有意差のあった項目の測定値は以下の通りである。Sクマ（運動重視 vs. その他：15.7±1.3 vs. 19.7±1.4）、カンガルー（9.2±0.6 vs. 11.8±1.0）、Sカンガルー（11.5±0.8 vs. 15.4±1.3）、肘・鉄棒（6.7±0.7 vs. 4.3±0.4）。

Sクマ:ジグザグクマさん, Sカンガルー:ジグザグカンガルー, 肘・鉄棒:肘を付けてぶら下がり
(*: p < 0.05, **: p < 0.01)

ポイント

先生を対象にしたアンケートで、運動を最も重視していると回答したクラスの子どもの運動能力を比較したところ、Sクマ、カンガルー、Sカンガルー、肘・鉄棒（ぶらさがり）において、差がみられた。日常的に運動を行っている成果だろう。ただし、測定者が先生自身であるから、測定の際に子どもたちの動機付けなどに気合いがはいる、子どもがそれに答えたという作用もあるかもしれない。しかし、それを踏まえても明確に運動能力には違いがみられたことは事実である。